

様式第2号

視察研修先	宮城県南三陸町議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	震災からの復興及び防災について		
感想・所見など			
<p>南三陸町は、宮城県の東北部に位置し、リアス式海岸特有の風光を有する南三陸国立公園の一角を形成しています。面積は163.40km²、気候は太平洋岸に位置するため、海流の影響により夏は涼しく、冬は雪が少なく比較的温暖な地です。</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災から11年が経ち、壊滅的な災害からの復旧、復興に向け一歩ずつではありますが着実に進んでおります。亡くなられた方620名、行方不明者211名、全壊3143戸、半壊178戸、計3321戸（61.94%）甚大な災害を受けました。災害廃棄物は通年の約160年分であったようです。復興が進み、新しい建物が建ち、町は明るくなりましたが、人口減少が進み、震災前の状況に戻るには程遠いという事です。</p> <p>1000年に一度の津波の恐ろしさを改めて知り、お慰めする言葉も出ないほどですが、お世話になった議会事務局の方々に感謝し、亡くなられた方々のご冥福をお祈りして報告とします。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	宮城県気仙沼市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	震災からの復興及び防災について		
<p>感想・所見など</p> <p>気仙沼市は、宮城県の最北端に位置し、東は太平洋に面し、南は南三陸町、西は登米市に接しています。</p> <p>東日本大震災、3月11日14時46分頃、マグニチュード9.0、震度6弱、5強、直後非難のため車は渋滞し、避難困難な状況、津波は市役所まで到達、避難所は105カ所、20000人に食事提供、また、ライフライン復旧に電気2か月、水道3か月、災害の少ない私には想像は絶するものでした。</p> <p>東日本大震災遺構・伝承館、将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける（目に見える証）として活用し、気仙沼市が目指す、津波死ゼロの街づくりに寄与する目的として建設したものです。</p> <p>伝承館および旧校舎を丁寧に案内いただき、改めて震災の恐ろしさ、悲惨さを感じ自然の驚異に驚きを感じました。これから本市でも老朽化した公共施設の建て替えをしますが、災害に強い、減災を考えた建物を建設する必要があると感じました。</p> <p>今回大変お世話になり、丁寧に説明していただき、今後、寒河江市政に活かしていきたいと思っております。</p>			